

うちなだ 議会だより

Vol.121

平成27年〔2015〕
6月5日 発行



大空に舞い上がれ!! (第27回 内灘世界の風の祭典)

新体制決まる(議長に生田勇人氏)

②

START 内灘創生(3月定例会)

④

一般質問 —8人が登壇—

⑪

ありゃ～どうなったがいね～

②①

委員会レポート

②①



新体制決まる

議長に生田氏

〈抱負〉

内灘町民の皆様の熱い期待に懸念に応えていくとともに、本町の発展と町民福祉の向上を目指し、誠心誠意努める覚悟です。

プロフィール

生年月日

昭和50年1月27日

初当選

平成19年4月。現在3期。

活動歴

文教福祉常任委員会委員長、環境開発対策特別委員会委員長、総務産業建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員、副議長等を歴任。



生田 勇人 議長

5月8日に、改選後初めての臨時議会（組織議会）が開かれました。

議員定数削減により委員会定数も変更となりましたが、少数精鋭、初心忘れずに取り組んでまいります。町民のみなさまどうぞよろしくお願いいたします。

副議長に恩道氏



恩道 正博 副議長

〈抱負〉

新議長のもと、議会が公正かつスムーズに運営できるよう、一生懸命取り組んでまいります。

プロフィール

生年月日

昭和25年1月24日

初当選

平成19年4月。現在3期。

活動歴

決算特別委員会委員長、産業建設常任委員会委員長、広報対策特別委員会委員長、議会運営委員会委員等を歴任。

議会運営委員会

議会の運営や活動のあり方の問題点をとらえて調査研究し、より適正円滑な議会運営を目的に、副議長および常任委員会委員長等で構成しています。

(◎は委員長、○は副委員長)



太田 臣宣 川口 正己 ◎夷藤 満 ○中川 達 恩道 正博 生田 勇人(議長)

文教福祉常任委員会



恩道 正博 北川 悦子 七田 満男
南 守雄 ◎川口 正己 ○藤井 良信

町民福祉部、教育委員会の所管する事務事業を調査、審査する委員会です。

総務産業建設常任委員会



磯貝 幸博 米田 一香 夷藤 満
清水 文雄 ◎太田 臣宣 ○中川 達

総務部、都市整備部、消防本部、会計課、議会事務局、監査委員事務局の所管する事務事業を調査、審査する委員会です。

議会選出監査委員

南 守雄

河北郡市広域事務組合議会議員

中川 達 夷藤 満
藤井 良信 川口 正己

石川県後期高齢者医療広域連合議会議員

生田 勇人

内灘町青少年問題協議会委員

米田 一香

議会広報対策特別委員会



七田 満男 米田 一香
北川 悦子 ◎藤井 良信 ○磯貝 幸博
年4回発行する議会だよりの編集・発行を担当します。

START! 内灘創生

合葬式墓所建設事業
4,320万円

3月定例会
3日～18日

ほのぼの湯
基本設計業務 500万円

食育推進事業
40万円

避難所等への
太陽光発電式
誘導灯設置 7,200万円

写真は、指定避難所の鶴ヶ丘小学校

27年度

新規事業

(仮称) 白帆台小学校
基本設計業務
1,000万円

防犯カメラ設置事業
138万円

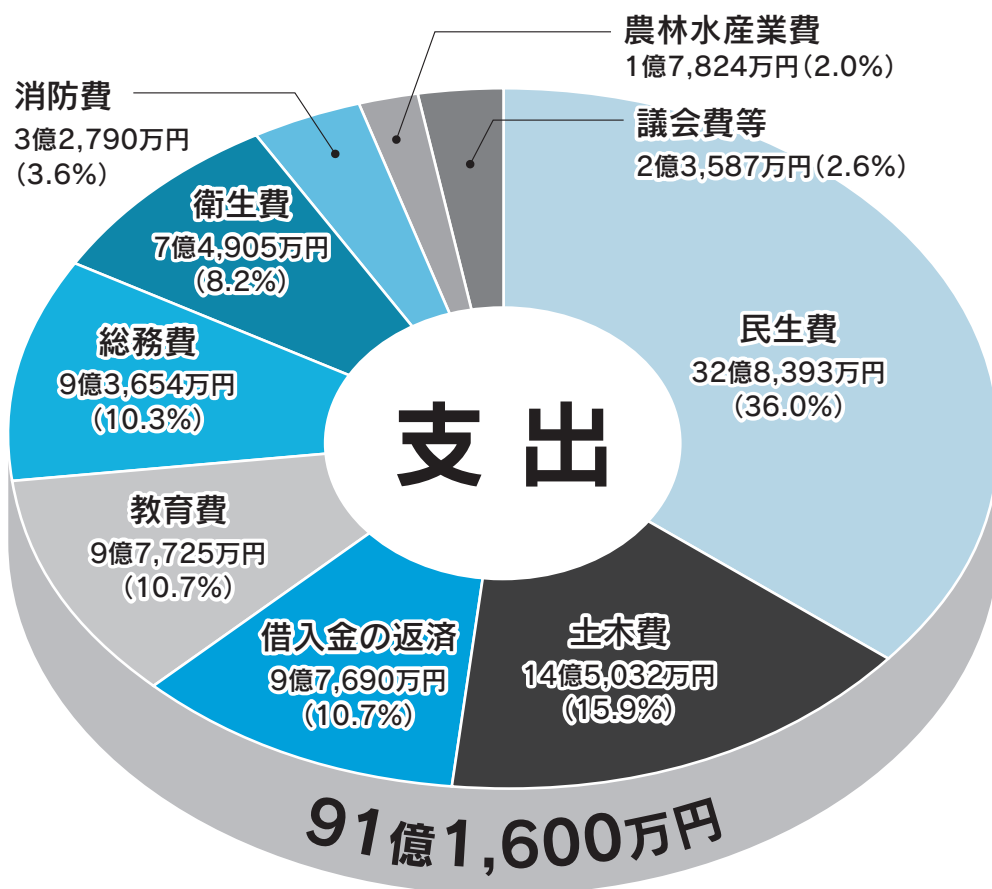
設置予定箇所は
内灘駅前・内灘海水浴場

その他の新規事業

・白帆台IC測量・予備設計業務	1,100万円	・畑地かんがい施設改修工事	2,150万円
・都市計画道路変更図書作成業務	350万円	・内灘駅前トイレ改修工事	30万円
・霊園区画造成工事設計業務	367万円	・サンセットブリッジライトアップ検討	50万円
・霊園区画改修事業	1,620万円	・(仮称) うちなだ健康ラリー	50万円
・霊園管理棟スロープ設置工事	320万円	・中央公民館耐震改修工事	7,860万円
・鶴ヶ丘地区雨水排水整備基本計画	2,000万円	・向陽台公民館非常階段改修工事	270万円
・下水道災害時計画策定	800万円	・大学公民館改修工事設計業務	40万円
・固定資産台帳整備業務	600万円	・文化会館非常照明改修工事	1,050万円
・宮坂ポンプ設備増設工事	2,400万円	・文化会館非常放送改修工事	300万円
・石川県防災総合訓練実施事業	300万円	・図書館防犯ミラー設置工事	32万円
・救急救助資機材整備事業	800万円		

効率化を図れ！

3月定例会



平成27年第1回定例会3月会議が開催され、平成26年度補正予算、平成27年度予算のほか、条例、管理者の指定など計32件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な支出の 対前年度比率

項目名	前年度予算額	前年度比※
農林水産業費	1億3,684万円	130.3%
総務費	7億8,990万円	118.6%
消防費	3億 133万円	108.8%

町の貯金と借金 (平成26年度末見込)

平成27年3月末の人口 **26,911**人

■ 貯金(基金)の残高

財政調整基金	3億9,895万円
公用、公共用施設整備基金	2億2,082万円
義務教育施設整備基金	3億1,108万円
(仮称)高齢者いきいき健康センター整備基金	1億9,636万円
土地開発基金	1億 241万円
その他の基金	1億7,951万円
一般会計基金の計	14億 913万円

町民1人あたり

52,363円
(前年度比97.9%)

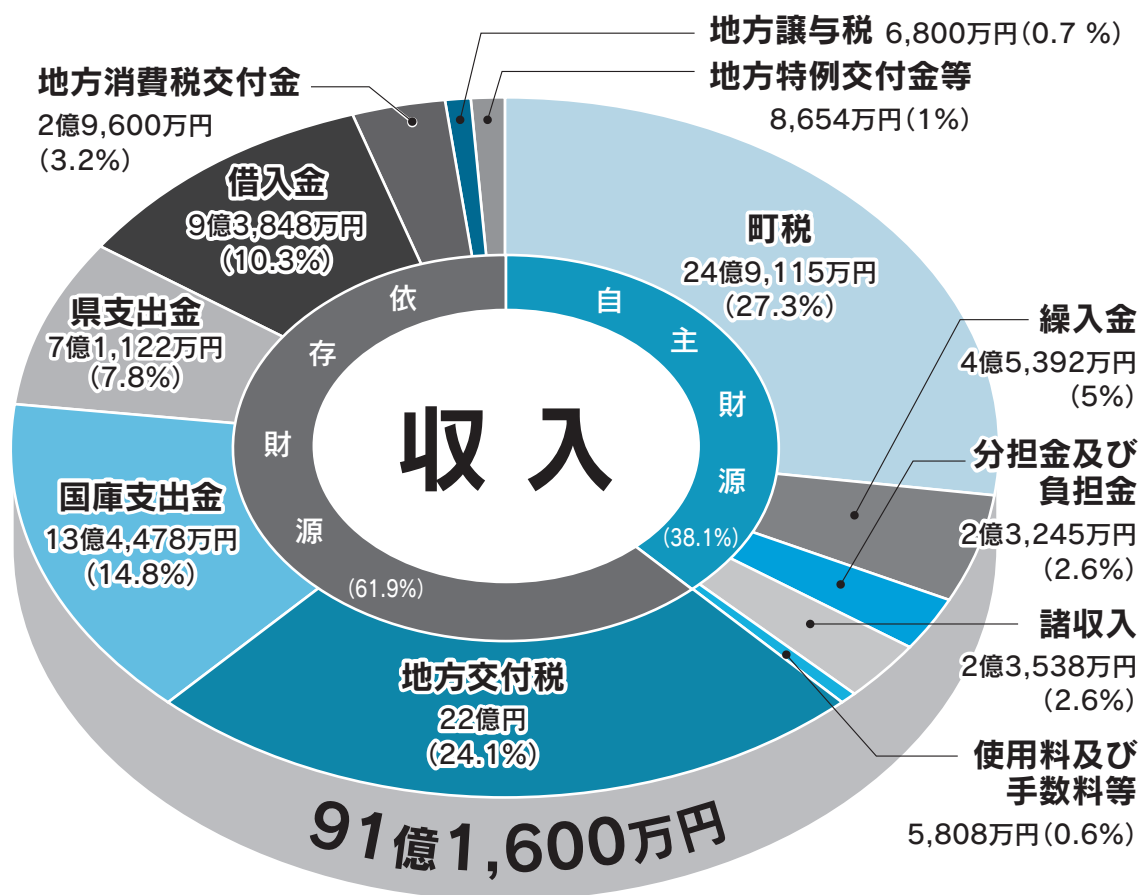
■ 借金(地方債)の残高

総務関連事業債	9億8,221万円
民生関連事業債	2億5,949万円
衛生関連事業債	7,559万円
土木関連事業債	20億9,025万円
教育関連事業債	16億2,668万円
臨時財政対策債	40億3,555万円
その他の町債	10億5,472万円
一般会計町債の計	101億2,449万円

町民1人あたり

376,221円
(前年度比106.2%)

行政運営の



主な収入の 対前年度比率

項目名	前年度予算額	前年度比※
地方消費税交付金	2億2,000万円	134.5%
県支出金	5億9,048万円	120.4%

※前年度を100とした場合

平成27年度特別会計

総額 **72億1,369万円**

会計名		予算額	前年度予算額	前年度比	採決の結果
特別会計	公共下水道事業	14億8,000万円	11億7,650万円	125.8%	可決（賛成 12、反対 1）
	新エネルギー事業	4,800万円	5,660万円	84.8%	〃
	国民健康保険	29億3,940万円	29億9,620万円	98.1%	〃
	後期高齢者医療	2億2,900万円	2億2,740万円	100.7%	可決（全員賛成）
	介護保険	17億7,240万円	16億4,160万円	108.0%	可決（賛成 12、反対 1）
水道事業会計		7億4,489万円	7億2,474万円	102.8%	可決（全員賛成）
合 計		72億1,369万円	68億2,304万円	105.7%	

き商品券 発行 総額 1億2千万円

条 例

教育長の職務に専念する義務の特例
(全員賛成)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う改正
(全員賛成)

情報公開及び個人情報保護条例
(全員賛成)

行政手続条例
(全員賛成)

防災行政無線施設の設置及び管理条例
(全員賛成)

手数料徴収条例
(全員賛成)

体育施設及び行政財産使用料等の条例
(全員賛成)

長寿お祝い条例
(全員賛成)

国民健康保険税条例
(賛成12人…反対1人)

介護保険条例
(賛成12人…反対1人)

畑地かんがい施設管理料条例
(全員賛成)

消防本部及び消防署設置条例
(全員賛成)

消防団員の定員、任免、給与服務等の条例
(全員賛成)

内灘町次世代育成支援地域行動計画評価委員会設置及び町立保育所民営化検討委員会設置条例
(全員賛成)

地域包括支援センター条例
(全員賛成)

公共施設管理者の指定
(全員賛成)

管理者	施設名
一般財団法人 内灘町公共施設 管理公社	内灘町サッカー 競技場 (平成27年度)
有限会社 ユーエスピー	道の駅内灘サン セットパーク (平成27年度)
企画	

平成26年度補正予算

会計名		補正額	補正後の予算総額	採決の結果
一般会計		1億1,309万円	94億5,396万円	賛成11、反対2で可決
特別会計	公共下水道事業	△1,289万円	11億6,057万円	〃
	新エネルギー事業	△328万円	5,333万円	〃
	国民健康保険	△1,425万円	31億9,668万円	〃
	後期高齢者医療	252万円	2億3,157万円	〃
	介護保険	△1,127万円	16億3,050万円	〃
水道事業		△1,574万円	7億 901万円	〃
合 計		5,818万円	164億3,562万円	

予 算

平成27年度一般会計
(賛成10人…反対3人)

反対討論

清水文雄議員

町長は「子育て支援ナンバーワン」と言っているが、昨年のひとり親家庭への小学生補助カットなどからみても低所得者層、いわゆる補助を出さなければならぬ人たちが内灘町に住んでいては困るというような行政の姿勢であるように思える。

本当に困っている人たちに光を当てる町政が求められている。

以上の立場から、平成27年度一般会計の全ての予算に反対する。



暮らし応援 産業育成

プレミアム付

子育て支援

中学校非構造部材改修工事 8,760万円

・体育館の吊り天井や照明の補強、南校舎のガラスシーリング交換など。

多子世帯保育料軽減事業 2,350万円

・18歳未満児童を3人以上養育している世帯は、第3子以降保育料無料、第2子は半額。ただし所得制限あり。

定住促進

転入の新婚夫婦に家賃補助 510万円

・1年以内に婚姻届を提出した夫婦へ、月額家賃の1/2、上限2万円を助成（12ヵ月間）。

産業育成

プレミアム付き商品券推進事業 2,235万円

・商工会が発行する商品券、総額1億2,000万円分のうち2,000万円を補助。

住宅リフォーム助成事業 2,040万円

・前年度実施の事業を継続する。



3月に完成した内灘町サッカー競技場

水口裕子議員に対する 議員辞職を求める決議

可決

賛成9…反対3

・要約

水口裕子議員はこれまで、自身の発行する広報紙「みずの輪便り」で、議長から度重なる厳重注意を受けている。本年2月3日には、内灘町議会議員政治倫理条例第11条第2項の規定により議長から警告書を手渡され、水口議員からは2月23日に文書で、その警告に対してお応えできない旨の回答書が提出された。

昨年12月に設置された内灘町議会議員政治倫理審査会での調査では、疑いのある4項目すべてが違反行為と認定されている。同僚議員からも、議会内外での発言において、強く自制を求めていたにも関わらず、警告の趣旨に反する回答書が出されたことは、内灘町民全体の代表者である内灘町議会議員としての品位と、

以上決議する。

提出議員 八田 外茂男
賛成議員 能村 憲治
賛成議員 恩道 正博

平成26年12月、水口裕子議員に対して政治倫理条例に違反しているとの調査請求が提出され、審査会で調査していましたが、結果、違反行為が認定され、議長へ報告があったものです。詳細、経過は議会だより120号をご参照ください。



審査しました！ 請願と 意見書

不採択

請願

教育予算の拡充を求める
請願書

(賛成4人、反対9人)

3回目

◎請願者

石川県教職員組合河北支部

執行委員長 酒井 一成

◎紹介議員

清水 文雄

採択

意見書

よりよい教育環境の拡充
を求める意見書

(賛成10人、反対3人)

◎提出議員

太田 臣宣

◎賛成議員

生田 勇人

能村 憲治

主旨

- ・OECD諸国並みの、豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級の推進。
- ・教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の拡充。
- ・校舎の耐震化、教材備品の修繕費等、学校教育環境の整備充実に必要な予算措置。
- ・子どもと向き合える時間確保ができるよう、教職員の定数改善や事務負担の軽減。

主旨

- ・少人数学級を実現するため、教職員定数を改善する計画を早期に策定。
- ・相談窓口の充実を図るための予算措置を行うこと。
- ・情報教育支援員の配備とICT機器の導入や維持管理に係る必要な予算措置を行うこと。
- ・教室内の冷暖房設備の整備促進を行うこと。
- ・義務教育費国庫負担制度の拡充を行うこと。

賛成討論

清水 文雄 議員

12月の議会でも継続。この後、よく似た教育に関する議会案、意見書が出されている。なぜ私が紹介議員となった請願が文教福祉常任委員会では不採択となったのか。請願に対する姿勢、請願の受け取り方に対する姿勢も含めてこの請願ぜひとも採択をしていくべきだ。

「請願」とは

議員の紹介が必要。受理されると、定例会で審議され、本会議の採択をもつて意見書となる。

「意見書」とは 提出議員の他に一名以上の賛成議員をもって、議会議案として提出され、本会議の採択をもって内閣総理大臣および国・県等の関係機関に提出される。



議会事務局新体制

4月の人事異動により、事務局職員も2人の新メンバーを迎えスタートしました。

皆で力を合わせともに頑張っていきましょう。

新メンバー

- ・中宮憲司 議会事務局局長
- ・奥田由美 事務補助員



一般質問

市政も問う

8人が登壇

生田 勇人 議員 12

- 保育料新制度への対応は
- 内灘北部地区基本構想について

恩道 正博 議員 13

- 住宅リフォーム助成を継続せよ
- 公衆無線LANの設置について

北川 悦子 議員 14

- 暮らし応援策を示せ
- 合葬式墓所について

ほか2問

藤井 良信 議員 15

- 道の駅を大規模改修せよ
- 介護施設について

ほか1問

中島 利美 議員 16

- 指定避難所を整備せよ
- ひとり親家庭支援、子育てについて

ほか1問

清水 文雄 議員 17

- 財政計画の認識を示せ
- 南部スクールバス、防砂対策について

ほか2問

水口 裕子 議員 18

- 火電反対闘争の資料を保護せよ
- 魅力発信について

ほか1問

能村 憲治 議員 19

- 企業立地推進室の活動状況は
- 空き家対策について

ほか1問



保育料新制度への対応は 第2子も半額へ



生田 勇人 議員

問 県が平成27年度から実施の方針を固めた第3子以降の保育料を無料にする補助制度に、当町はどう対応するか。

既に国基準に上乘せし、同様の制度を独自で取り組んでいる自治体もある。子育て支援に取り組む町の考えを聞く。

答 子育て支援充実の観点から、多子世帯の経済的負担の軽減を図るため県の制度を活用し、町では第1子が4月1日現在18歳未満の場合第2子の保育料を半額に、第3子以降の保育料を無料とする町独自の軽減措置を、実施に向け検討している。

問 内灘に住んで子どもを産みたい、子育てしてみたいと思っていただけのような魅力ある町独自の施策こそが、人口減少を迎えた時代には必要だ。県が設けた所得制限に町はどう対応するのか。

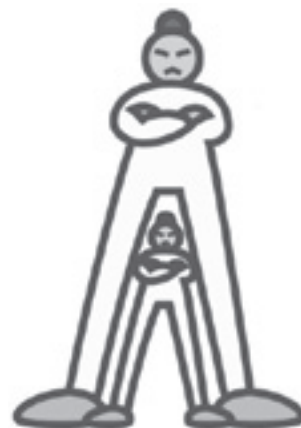
答 県内では、既に同様の制度を実施している3市2町が所得制限なしとしており、新制度でも所得制限なしとする市町村もあると聞いている。町では所得制限を設ける方向で検討している。



内灘はまなす保育園のおともだち（道の駅）

北部開発ビジョン

地区計画



問 平成26年度末に策定される内灘北部地区基本構想は、北部地区住民の悲願ともいえる事項が明文化される。

これらを構想で終わらせず、どう具現化していくか、町の方針を聞く。

答 基本構想の中には、事業の優先順位や事業スケジュールも定めており、具現化には国や県など関係機関との調整や財源確保が重要だ。

これまで積み上げてきた国や県との強いパイプを生かし、スピード感を持って取り組んでいく。

問 少子高齢化が加速する中、人口の減少に歯止めをかける施策が急務であり、このまま地域の衰退を見過ごすわけにはいかない。北部市街化調整区域内の地区計画設定にかかる町の考えを聞く。

答 地区計画の設定は、住民や地権者が協議会の設立から策定・運用まで主体的に関わり、制度を十分に理解した上で合意形成を図ることが重要だ。町も地域と一体となり、北部地区の活性化に向け努力していく。



恩道 正博 議員

住宅リフォーム助成を継続せよ 商品券交付で継続する

問 消費喚起と生活支援を目的とした国の地域住民生活等緊急支援の交付金、各自治体に内示された。

答 住宅のバリアフリー化やリフォーム助成事業は、町商工業の活性化にもつながったことが平成26年度事業でも実証されている。

住宅リフォーム助成事業を継続してはどうか。

答 住宅リフォーム助成事業の概要は、工事施工業者を商工会会員とし、工事請負金額を50万円以上、助成金額は工事請負金額の20%以内、助成金の限度額は20万円とし、全て商工会発行の共通商品券で交付したい。

問 平成27年度事業も、前年度と同様に現金と共通商品券の交付にならないのか。

答 国の見解は現金支給を認めていないため、全て商工会発行の共通商品券の交付を考えている。

問 観光振興や災害時の通信手段の確保を考えると、公共施設等に公衆無線LANの設置は必要と考えるがその計画は。

答 セキュリティや利用認証などの技術的な課題があり、先進自治体の実施例を調査する。

無線LAN



リフォーム助成の継続を

プレミアム付き商品券



さらなる消費喚起を

問 国の地域住民生活等緊急支援の交付金は、消費喚起に直接効果がある事業に交付されるが、プレミアム付き商品券の発行は、町の活力を生み出す効果が十分に考えられる。町の取り組みを示せる。

答 消費喚起に即効性が高く、実施に向けた作業を進めている。

1億円の商品券に対してプレミアム分20%、2000万円を町商工会に助成し、商品券の発行時期は商工会と協議を進めている。

問 住宅リフォームの共通商品券、プレミアム付き商品券の使用期間を長くできないか。

答 商品券の使用期間を6カ月以上に設定する方向で商工会と協議を進める。

暮らし応援策を示せ 交付金を活用する



北川 悦子 議員



いつまでも元気ハツラツ（鶴ヶ丘西公民館）

問 アンケートを独自で実施したところ、70%近くの方は暮らしが悪くなったと答え、その原因として消費税増税をあげている。

答 平成26年度実施の元気内灘住宅リフォーム助成事業は、3億円を超える経済効果につながった。平成27年度も継続して事業を実施する。

暮らしをさらに応援する対策として、地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用してプレミアム付き商品券の発行を予定している。

介護慰労金

問 介護する方が倒れてしまったら大変だ。介護慰労金月額3000円を増額せよ。

答 平成26年度に支給要件を拡大したばかりで増額は考えていない。

子どもの医療費

問 県は、市や町が選択すれば引き続き県の補助を行うとし、予算も3億5000万円から4億円と医療費増を見込んだ予算を組んでいる。

答 窓口無料化は、既に輪島市が昨年の11月から実施している。町でも一日も早く、保険証だけで受診できるように現物給付方式にせよ。

答 現行の18歳までの医療費助成と小学生以上の月10000円の自己負担、就学前の自己負担なしを基本として現物給付方式の導入を検討する。

ほのぼの湯

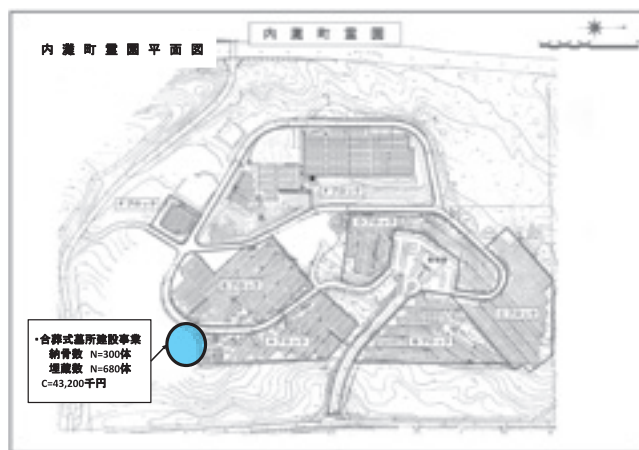
問 福祉センターほのぼの湯建替えの基本設計に500万円の予算が組まれている。福祉的役割の拠点になるような設計とせよ。

答 新たな施設でも高齢者をはじめ、利用者がくつろげる憩いの空間として検討している。

合葬式墓所

問 平成27年度完成予定の合葬式墓地は、どのように運営していくのか。

答 住民ニーズに応えるため、納骨室に300体、直接埋葬室に680体を収容できる規模の合葬式墓を建設する。使用料は、納骨室は一体当たり約13万5000円、埋葬室1体当たり約7万円とし、年間管理料は徴収しない。



合葬式墓所（平成27年12月完成予定）



藤井 良信 議員

道の駅を大規模改修せよ 地方創生へとつなげたい



さらなる魅力発信を（道の駅）

問 国は、平成26年度補正予算の中で地方財政対策費として「まち・ひと・しごと創生事業費」に1兆円を確保した。

これらにかかる町から国への申請状況を問う。

答 現在、地方創生先行型交付金として3100万円、消費喚起・生活支援型交付金として4500万円の内示があり、県を通じて町の事業計画を国へ提出し審査を受けている。国からの事業採択は3月中頃になる予定。

問 現在ある道の駅を大規模改修していくなど観光、経済、雇用に関する地方創生の取り組みでの町の考えを示せ。

答 国が示す総合戦略は、安定した雇用の創出、地方への人の流れ、若者世代への生活支援、安心な暮らしのための地域間連携を基本目標としている。今後、道の駅を含めた事業プランなど、魅力ある観光資源を有機的に地方創生へとつなげたい。

都市交流

問 神奈川県湘南エリアのどこか適切な自治体と都市間交流を結んでいく考えはあるか。

答 湘南地域周辺の自治体等と観光面での情報交換をぜひとも進めたい。

介護施設

問 白帆台で計画中のケアハウスと小規模多機能介護施設の機能や施設概要はどのようなものか。

答 ケアハウスは自炊ができない程度の身体機能に低下のある方や、独立して生活するには不安があり、家族の援助が受けられない60歳以上の方が対象の施設となる。



能登との交流起点となれるか

問 若者の仕事支援や雇用などローカルシフト※の対応での町の考えを聞きたい。

答 内灘海岸の活性化対策を町の観光戦略として位置づけし、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で事業推進を図っていく。

※ローカルシフト

都市中心の生活から食や伝統・暮らしの豊かさなど、地方のイイモノや、人が循環する生活、地方移住が若者中心に再認識されている。田舎暮らしの魅力や情報を発信し、移住や交流ニーズに応じた社会形成を進めていくこと。



指定避難所を整備せよ バリアフリー化を図る



中島 利美 議員



災害に備え施設整備を急げ（向栗崎 5 丁目東集会所）

問

指定避難所の向栗崎 5 丁目東集会所は、スロープ周辺が砂利のため車椅子で建物に入るには不都合である。
施設内のトイレも和式でバリアフリー整備が不十分なため、指定避難所としての役割が果たせていない。
災害に備えて、早急に改修せよ。

答

現状では車椅子の方や体の不自由な方が出入りにくい状況となっており、建物の周辺は早急に整備を検討したい。
トイレなど施設内の整備は今後、公民館等の改修計画の中でバリアフリー化を図っていく。

ひとり親家庭

問

ひとり親家庭の児童への学習支援や進学相談の取り組みとして、ボランティアを派遣する事業が、全国的に注目されている。

答

大変有利な国の補助事業であり、活用せよ。

問

県内で 2 つの市が実施しており、平成 27 年度にはいくつかの市町でも実施すると聞いている。

答

学習支援には、ボランティアの訪問によるものや、学習支援教室の開設などいろいろなケースの支援方法がある。
今後、児童や保護者の実情に配慮した支援のあり方を検討したい。

子育て



日本小児科医会の啓発資料より

問

日本小児科医会は「スマホに子守りをさせないで！」と心身の発達過程にある子どもへの影響を懸念している。

答

保健センターでは、4 カ月健診時に日本小児科医会発行のチラシを配布している。
スマホに頼り過ぎないよう、声かけや啓発ポスターの掲示など早急に対応したい。



清水 文雄 議員

財政計画の認識を示せ 現時点で見通すことは困難



南部地区冬季増便を

問 財政調整基金は平成25年度末に7億円あったが、平成27年度末で6200万円になる。町長は、ほのぼの湯の建替え、サッカー場やフットサル場の建設、白帆台小学校や仮称白帆台インターチェンジの建設など箱物といわれるハード事業を積極的に推進している。今後の財政計画と認識を聞く。

答 国の地方創生関連予算や地方財政計画の具体的方向性が不透明であり、現時点で的確に見通すことは困難だ。
財政計画では、一般財源ベースでの歳入額と義務的経費、経常的経費、繰出金など必要な歳出額をそれぞれ推計し、投資的経費に充当可能な一般財源を算出している。

スクールバス

問 内灘中学南部地区のスクールバスの運行は、乗れる生徒と乗れない生徒の線引きが画一的になっている。
冬季は、柔軟な対応が必要であり、増車が無理ならば、通年運行を冬期間限定運行へと検討すべきではないか。

答 冬季は一部の生徒も乗れるよう配慮をしている。現状は80人乗りのバスを運行。当該地区の生徒は80名で定員ぎりぎりの運行をしている。
これ以上は増便となるが、ある程度の距離を歩くことも生徒の心身の発達には非常に重要なことと考える。今後、検討したい。

公園

問 千鳥台5丁目に公園がない。子どもが遊べる公園を設置できないか。
答 住宅地と内灘高校の間に道路用地があり、土地開発公社が所有している。残地活用の検討を要請したい。

防砂対策

問 千鳥台公民館付近は、防風林がなくなり、飛砂の堆積がひどい。もっと高さのある防砂ネットを設置せよ。
答 ネットも張り、重機で除砂も行っている。関係機関と協議をしたい。



堆積する飛砂



水口 裕子 議員

火電建設反対運動の資料を保護せよ 調査研究に取り組む



1F 展示室（風と砂の館）

問

風と砂の館には、栗崎遊園や内灘闘争の資料は大変充実しているが、昭和45年の火力発電所建設反対運動の展示がされていない。

平成27年度学芸員を配置するなら、資料を集め整理することを優先せよ。

答

学芸員には火力発電所建設反対運動も含めて、町の歴史に関する資料の整理収集、調査研究に取り組んでもらう。

問

砂丘ボランティアによる住民参加型の運営方法はどうなるのか。

答

学芸員に受付業務等をお願いをする。

内灘闘争

問

文化財指定に向かって動き出した内灘闘争跡地の保全作業を急げ。

答

標識を設置し除草などに努める。

問

海岸に弾薬庫を再現、資料を展示して、若者にも平和を考えるきっかけにしてみたい。

答

射撃指揮所跡に当時の情報や、風と砂の館の情報に記載した看板の設置を検討する。

防災訓練

問

国や県の方発防災訓練に職員の派遣を再開せよ。

答

今後は訓練実施機関と協議し、職員の派遣を検討する。

魅力発信

問

平和と戦争の間を揺れ動いた浅電も90周年。北陸新幹線利用客の誘致にどう取り組むか。

答

車内や駅舎に効果的な掲示をお願いし、町の魅力発信に努める。

問

全国にも数少ない平和と民主主義を学習できる町、生きた歴史を体感できる町として、もっと世界へ発信せよ。

答

歴史民俗資料館の充実やイベントなどを通じて、町の歴史と魅力を町外に発信していく。



新幹線効果と呼び込め



能村 憲治 議員

企業立地推進の状況は 引き続き誘致活動を進める

問 平成18年4月企業立地推進室を設置し、その後地域振興課に統合されて8年が経過した。

この間、メガソーラーの進出や白帆台の商業用地にコンビニエンスストアの出店を図った。

商業施設用地も85%が残ったままとなっているが現在の進捗状況を示せ。

答 白帆台商業用地にはスーパーマーケット等、民間事業者への働きかけを行っている。

また、関係機関等と連携を密にして、引き続き誘致活動を積極的に進める。

問 企業立地推進費として84万円が計上されている。使用目的を示せ。

答 事業所訪問のための旅費が主であり、その他商業施設用地の管理費等となる。

誘致交渉に進展の見込みが出てきた場合は、誘致促進条例などに基づく奨励金等の計上となる。

地方創生

問 2月18日に設置された、元気づちなど創生推進本部のメンバーと活動内容を聞く。

答 メンバーは町長が本部長となり、副町長を副本部長とし、各部長をおく。地方創生に取り組む専門部署の設置も検討し、各種施設の実現に向け全身全霊を傾けていく。

空き家対策

問 老朽化が著しい75軒のうち、27軒が倒壊等の危険度が高いと聞いている。指導を進めて1年が経過したが、適切な対応がとれたのか。

答 27軒中、解体は3軒、補修の予定を町に示した建物は3軒あった。

問 今年2月、空き家対策の推進に関する特別措置法が施行された。自治体の権限強化が含まれるが、条例などを検討するのはいつ頃になるのか。

答 同法が完全施行される5月末以降に協議会を設置したい。



望まれる商業施設誘致（白帆台）

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

住宅リフォーム助成制度を創設せよ

消費税増税により消費減退が心配される。地域経済活性化のため、住宅リフォーム助成制度を創設せよ。

平成 25 年 9 月議会 太田 臣宣 議員

答 弁

検討を進める

居住環境の向上や安全性の確保、地域経済の活性化へとつながり定住促進にも期待できる。

その後

平成 26 年 4 月 1 日から受付開始

内灘町商工会加盟の施工業者による住宅リフォーム工事に対し上限 20 万円で助成を開始しました。



非構造部材の耐震化調査は

学校での非構造部材の点検は実施されているのか。国の財政支援を活用して耐震対策を進めよ。

平成 24 年 6 月議会 恩道 正博 議員

答 弁

早急に対策を講じる

施設の大規模改修で一部対策を講じているが、完全とはいえない。制度を活用して非構造部材の耐震化に着手したい。

その後

平成 27 年度に改修工事を実施

小中学校ともに非構造部材点検調査のための予算が計上され、今年度から耐震改修工事の実施設計後、改修工事を行います。



非構造部材の一例

平成 26 年中に内灘町議会を傍聴された方は 219 人です。

	3月定例会	6月会議	7月会議	8月会議	9月会議	10月会議	11月会議	12月会議	合計
平成 26 年	84 人	27 人	3 人	4 人	50 人	2 人	2 人	47 人	219 人
平成 25 年	98 人	32 人			65 人			50 人	245 人

総務産業建設常任委員会

問 北陸新幹線開業に係る観光客の誘致では、浅電とコミュニティバスの連動や路線見直しの考えを示せ。

答 平成27年度中に案をつくりたい。当初予算ではなく、地方創生関連の交付金が使えそうなことから、補正での対応を考えている。

問 松くい虫の駆除事業では、事前に防風林を保存するための計画はできているのか。

答 事業予算の150万円は、あくまで現在枯れている松270本伐採のみの予定である。

問 町民夏まつりや、地区祭礼等での露店に対する消火器設置の指導は。

答 各種イベント等の露店に対し、消火器を設置するようしっかりと指導していく。



問 向栗崎2丁目にある産業会館の現状は現在、風会館となっている。以前から指摘しているが、この施設が地域コミュニティの場として有効に活用されることを強く要望する。

答 現在の産業会館という名称がある中で、そういう状況となっている。町会から集会場として活用ができないかとの話も過去から聞いている。

現状を全て踏まえた上で今後、施設のあり方をどうするか、検討する。

文教福祉常任委員会

問 各地区で管理している街灯のLED化は、どのような計画になっているか。

答 昨年、町会区長会より出された5カ年計画に沿って設置を予定し、国からの補助金が要望額を下回った場合は、町会区長会と協議して調整していきたい。

問 社会福祉協議会が文化会館に移るにあたり、経費がかかると思うが、文化会館を手直しかするの。異動後の保健センターはどうなるのか。

答 社会福祉協議会は文化会館1階事務所で開設し、パソコン等の移動にかかる経費は、同協議会の予算で実施する。移設後の保健センターへは、地域包括支援センターが入り、子どもから高齢者までの事業を施設内で行っていく。

問 中学校のクーラー設置はどのように考えているのか。

答 平成27年度に補助金の申請を行い、平成28年度の設置に向けて準備している。

問 図書館の図書購入は、町民からの要望にどのような対応をしているか。

答 要望のあった本は、図書館で内容等を精査し、できる限りお応えできるようにしている。



これだけは別

八木 進



議会を傍聴しませんか

6月会議の一般質問は**11日午前10時**から開会の予定です。議場の受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行っています。

議会事務局 TEL286-6715

街かどインタビュー



○内灘に生まれ育ち23歳となりました。

◆内灘に住んで何年になりますか。

今回紹介する方は、アカシアロマンチック祭で、内灘の特産品を販売していた林 莉帆さんです。

「先輩ママさんに関わりたい」

結婚後、1年ほど金沢で暮らしましたが、今は宮坂に住んでいます。

◆普段はどんなことをされていますか？

○趣味はお料理で、2歳7ヶ月の息子がいるので、子育てに奮闘する日々です。

◆理想の内灘町へ想いは？

○住みやすい、子育てしやすい町です。

◆地域づくりについてどう思いますか。

○今まで地域の方々とおまわり関わってこなかったこともあり、身近に子育ての相談ができる方が少ないです。先輩ママさんともっと関われたらいいなあ。
不安も多いので、地域で子育て歓迎の雰囲気があるともっと馴染み易いと思います。

◆最近の子育ての悩みは？

○上手に断乳ができないので悩んでいます。
以前、保健センターに行ったことがあります。役所関係はなんだか堅い感じで一人では行きにくいですね。

◆うちなだ議会だよりってご存知ですか？

○ごめんなさい、知らないです。

広報うちなだなら知っています。が、違うものですか？

◆はい、違うものです。でも気になさらないでください。

これを機会に少しでも興味を持って頂けたら嬉しいです。

莉帆さん、お忙しい中ありがとうございました。

インタビュー 米田 一香

編集後記

今回の統一地方選挙では議員定数が3名減の13名となり、少数精鋭の新体制となりました。

平均年齢も54・5歳と約6歳若くなり、石川県で一番元気な議会へとさらに前進しました。

活力あふれる議会を身近に感じていただくため、臨場感ある議会だよりの編集を心懸けてまいります。みなさまご期待ください。

また、我々の真剣な姿勢を肌で感じていただけるようぜひとも議場へ足をお運びください。

〔磯貝 幸博〕

広報対策特別委員会

委員長	藤井 良信
副委員長	磯貝 幸博
委員	北川 悦子
委員	七田 満男
委員	米田 一香